

## デザインコンペ 2021 審査講評 デッサン・イラスト部門（デッサン編）

テーマ：＜私の宝物＞

「私の宝物」というテーマでのデッサン公募でした。今回も、多数の応募をいただきましたが、入賞作品につきましては、テーマをしっかり意識描されていることが窺えます。「宝物」と言ってもいろんなものが考えられますが、紙の大きさから考えて手のひらに収まるような小さな宝物はモチーフとしては考えにくかったかもしれません。そのため単体で描くだけではなくモチーフの数を増やしたり、主となるモチーフにプラス $\alpha$ を加え、画面に耐えられる構成を考えるなど、いろいろと工夫されているようです。ハッチングを多用した美大受験風デッサンは今回は影を潜め、執拗に質感を表現している作品が目を引きました。テーマを設定したデッサンは、いわゆる静物デッサンとは違い、どう見せるかといった構成力も重要な要素となります。

入賞作品に関しましては、描き方は様々ですが、どれもモチーフをしっかり観察し、時間をかけて描かれた佳作と言えます。入選の巽さんの作品は、物というより思い出自体が宝物なのでしょう。卓越したデッサン力で描かれています。銅賞の高さんの作品は、ウルトラマンのお面を中心に雑多なおもちゃがたくさん描かれています。当時の作者にとっての宝物かもしれませんが、この作品もそれらが宝物であったという思い出が宝物なのだと思います。そして、金賞に選ばれた畠山さん、おめでとうございます。思い出深い大切なパンダのぬいぐるみを、ただ単体で描くのではなく、おそらく子どもの頃の作者とお母さんの間に手をつなぐ形で構成しているところが、大切さを一層醸し出しています。また手が加わることによりモチーフの大きさが伝わります。コンペの金賞に相応しい作品であるといえるでしょう。これからも頑張ってください。

山口学芸大学 武田雅行